

# 東日本大震災 医療支援 「こころのケアチーム」 第27班 活動報告

派遣期間:9月6日（火）～9月9日（金）

小出真哉（医師） 中島百合（看護師）

秋山宏治（事務） 上野千恵（ソーシャルワーカー）



# 第27班 活動時の概況

- 震災より半年が経過する時期
- 第27班より4名体制での活動が復活
- 大船渡市の被災地派遣の現状
  - ①全国から派遣されていた保健師チームが8月末で派遣を終了。市の保健師のみの対応となる。
  - ②大船渡市の災害対策本部が終了。
  - ③沖縄チームがケース訪問の対応を終了。個別支援の対応継続を明確にしているのは当院のみとなっている。



# 第27班の活動内容

- 第26班からの活動引き継ぎ
- 仮設住宅を中心とした訪問診療
- 訪問ケースの職場へのコンサルテーション
- こころの相談室（木曜日 午後1時半～3時半）
- 定例ミーティングへの参加（水曜日 午後4時から）
- 市・県保健師との連絡・情報交換
- 保健師からの新規ケース依頼を受け調整
- 住民からの電話相談への対応（仮設住宅にこころのケアチームの相談窓口電話を記載したちらしを配布した、とのこと）

# 活動経過 第1日目

9月6日（火）

- 移動：東京～水沢江刺～大船渡
- 大船渡市内復興状況視察
- 16時 合同庁舎・介護保健センターへあいさつ、引き継ぎケースについての確認
- 7日以後の訪問診療活動のためのスケジュール調整

# 活動経過 第2日目

9月7日（水）

〔午前〕

- 訪問診療（訪問2件 不在3件）
- 継続ケースの電話によるフォロー

〔午後〕

- 訪問診療（訪問2件 不在1件）
- 新規ケースの依頼
- 介護保健センターでの定例ミーティングに参加
- 引き継ぎケースについて保健師との情報交換
- 8日以後の訪問診療活動のためのスケジュール調整

# 活動経過 第3日目

9月8日（木）

〔午前〕

- 継続ケース訪問（5件 不在なし）

〔昼〕

- 新規ケース訪問  
気仙光陵支援学校からの相談依頼（教職員の相談）  
校長先生・養護教員へのコンサルテーション

〔午後〕

- こころの相談室（継続ケース 3件）
- 県・市保健師と情報交換

# 活動経過 第4日目

9月9日（金）

〔午前〕

- 引き継ぎケースの訪問（たまたま保健師も訪問中）

〔午後〕

- 保健介護センターで書類の整理
- 市保健師に報告・引き継ぎ
- 移動：大船渡～水沢～東京（この間に住民から直接電話相談あり、保健所と調整） 解散



# ケースのまとめ

- 訪問継続ケース

|                   |    |     |
|-------------------|----|-----|
| アルコール依存症（断酒中の人含む） | 4名 |     |
| PTSD              | 1名 |     |
| 不眠症               | 1名 |     |
| うつ病               | 1名 |     |
| パニック障害            | 1名 | 計8名 |

- 訪問新規ケース

|      |    |     |
|------|----|-----|
| 適応障害 | 1名 | 計1名 |
|------|----|-----|

- こころの相談室（すべて継続ケース）

|         |    |     |
|---------|----|-----|
| PTSD    | 1名 |     |
| 不眠症     | 1名 |     |
| 不安抑うつ状態 | 1名 | 計3名 |

# 大船渡の街の様子





# 大船渡の街の様子





# 大船渡の街の様子



# 大船渡の街の様子





# 大船渡の街の様子





## 第27班 活動を通しての考察

- 継続ケースに関しては基本的には次の班へつないでいくというスタンス。しかし、訪問継続が必要なケースなのか、新規依頼のケースも本当に訪問が必要なのか疑問に感じることもあった。終了していくケースもあるが、継続ケースを見直ししていくことも必要なのではないかな。
- 他の医療チームが引き上げていく中、新規ケースが、今まで集中していた地域から拡大傾向がある様子（陸前高田～三陸町越喜来）。効率良く訪問を行っていく必要性。

## 第27班 活動を通しての考察

- 他機関との連携について。医療機関への受診につながらずにチームが処方継続しているケースや通院していても、医療機関への不信から訪問を望むケースもある。新規ケースに関して保健師に報告しても、チームで直接対応するよう返されるケースもあったが、チームで抱えず連携を求めていく必要。
- チーム派遣終了まで残り半年あるものの、地域医療支援として入っていることを踏まえ、地域に返していくことや、医療が必要な人には、根気強く医療につなぐ努力をしていく必要。